



【連携機器】Juniper NetWorks MAG 2600 【Case】Junos pluse を利用した、証明書と ID & Password によるハイブリッド認証 Rev1.0

株式会社ソリトンシステムズ

はじめに

本書について

本書は、NetAttest EPS と Juniper Networks 社製 VPN ゲートウェイ MAG 2600 との証 明書+ID&Password 認証連携について記載した設定例です。 各機器の管理 IP アドレス設定など、基本設定は既に完了しているものとします。設定は管 理者アカウントでログインし、設定可能な状態になっていることを前提に記述します。

表記方法

表記方法	説明
[]	参照するドキュメントを示します。
٢J	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。
[+-]	キーボード上のキーを表します。
[+-1]+[+	「キー1」を押しかがら「キー2」を押すことを表します
-2]	

表記方法(コマンドライン)

表記方法	説明
%, \$, >	一般ユーザーのプロンプトを表します。
#	特権ユーザーのプロンプトを表します。
[filonamo]	[] は省略可能な項目を示します。この例では、filename は省
[mename]	略してもよいことを示しています。



アイコンについて

アイコン	説明
•	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
	注意事項を説明しています。場合によっては、データの消失、
	機器の破損の可能性があります。

画面表示例について

このマニュアルで使用している画面(画面キャプチャ)やコマンド実行結果は、実機での表示 と若干の違いがある場合があります。

ご注意

本書は、当社での検証に基づき、NetAttest EPS 及び MAG 2600の操作方法を記載したものです。すべての環境での動作を保証するものではありません。

NetAttest®は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。 本文中に ™、®、©は明記していません。

- 3 -

目次

1.	構成	6
	1-1 構成図	6
	1-2 環境	7
	1-2-1 機器	7
	1-2-2 認証方式	7
	1-2-3 ネットワーク設定	7
2.	NetAttest EPS の設定	8
	2-1 システム初期設定ウィザードの実行	8
	2-2 サービス初期設定ウィザードの実行	8
	2-3 認証ユーザーの追加登録	9
	2-4 クライアント証明書の発行	11
3.	MAG 2600の設定	12
	3-1 基本設定	12
	3-1-1 インターフェイスの設定	
	3-1-2 システム時刻設定	
	3-1-3 Hosts 設定(任意)	13
	3-2 MAG 2600 の証明書に関する設定	14
	3-2-1 SSL に関する設定(参考) (MAG 2600)	14
	3-2-2 CSR の生成 (MAG 2600)	15
	3-2-3 サーバー証明書署名要求 (NetAttest EPS)	17
	3-2-4 サーバー証明書の発行 (NetAttest EPS)	17
	3-2-5 サーバー証明書のダウンロード (NetAttest EPS)	
	3-2-6 CA 証明書の取得 (NetAttest EPS)	
	3-2-7 サーバー証明書のインポート (MAG 2600)	19
	3-2-8 CA 証明書のインポート (MAG 2600)	20
	3-3 MAG 2600 の VPN 接続に関する設定	23
	3-3-1 RADIUS/Certificate Serverの設定	23
	3-3-2 VPN Roles の設定	24
	3-3-3 VPN Access Policyの設定	26
	3-3-4 Authentication Realmsの設定	27

	3-3-5 Sign-In Policyの設定	29
	3-3-6 IP プールの設定	
4.	各種 VPN クライアントの設定	31
	4-1 Windows 版 Junos Pulse	31
	4-1-1 PC へのデジタル証明書のインストール	31
	4-1-2 VPN クライアント(Junos Pulse)の接続設定	
	4-2 iOS 版 Junos Pulse	
	4-2-1 iOS へのデジタル証明書のインストール	
	4-2-2 VPN クライアント(Junos Pulse)の接続設定	35
	4-3 接続テスト	
	4-3-1 Windows 版 Junos Pulse を利用した VPN 接続(トンネリング	「モード) 36
	4-3-2 iOS 版 Junos Pulse を利用した VPN 接続	

1. 構成

1-1構成図



1−2環境

1-2-1機器

役割	メーカー	製品名	バージョン
Authentication Server (認証サーバー)	Soliton Systems	NetAttest EPS-ST04	Ver. 4.4.3
RADIUS クライアント (SSL VPN 機器)	Juniper Networks	MAG 2600	Ver. 7.1R1 (build 17675)
無線 AP (インターネット側用)	BUFFALO	WAPM-APG300N	Ver. 2.5.1
Client PC	Panasonic	Let's note CF-S9	Windows 7 SP1
Client Tablet	Apple	iPad	iOS 6.0.2

1-2-2認証方式

デジタル証明書認証+ID/Password 認証

1-2-3ネットワーク設定

	EPS-ST04	MAG 2600	Client PC	Client Tablet	無線 AP
IP アドレス	192.168.1.2/24	192.168.1.110/24(in) 192.168.3.110/24(out)	DHCP (無線 AP から)	DHCP (無線 AP から)	192.168.3.100/24
RADIUS port (Authentication)	UDP 1812		-	-	_
RADIUS port (Accounting)	UDP 1813		-	-	-
RADIUS Secret (Key)	secret		-	-	-

2. NetAttest EPS の設定

2-1システム初期設定ウィザードの実行

システム初期設定ウィザードを使用し、以下の項目を設定します。

- タイムゾーンと日付・時刻の設定
- ホスト名の設定
- サービスインターフェイスの設定
- 管理インターフェイスの設定
- メインネームサーバーの設定





【木スト名】 ・naeps.local 【IP アドレス】 ・192.168.1.2(デフォルト) 【ライセンス】 ・なし

サービス初期設定ウィザードの実行

サービス初期設定ウィザードを実行します。

本手順書では値を記載しているもの以外はすべてデフォルト設定で行いました。

- CA 構築
- LDAP データベースの設定
- RADIUS サーバーの基本設定(全般)
- RADIUS サーバーの基本設定(証明書検証)
- NAS/RADIUS クライアント設定









認証ユーザーの追加登録

NetAttest EPS の管理画面より、認証ユーザーの登録を行います。

「ユーザー」→「ユーザー一覧」から、「追加」ボタンでユーザー登録を行います。

Net Attest EPS			(トッナページ)の、設定保存 の ログオコ
= naeps00.local	🙎 フーザーー管		
 システム設定 システム管理 オロの第88 	ユーザー ● 一部 ● 完全 グループ	チ 💌 1000 ユーザーまで 検索	
 ■ DHCPサーバー 			道加 ユーザー削除時の証明書失効オプ: ョン
■ LDAPサーバー ■ RADIUSサーバー	名前 test user	ユーザーID test	証明書 タスク
■ ユーザー ■ ユーザー <u>覧</u> ■ エクスポート ■ インポート ■ ユーザーパスワードポリシー ■ デフォルトユーザーブロファイル	UST USK	123	
		ユーザー設定	
		編集対象: 新規	/ 李尼州 orm
		ユーザー情報 標準典性 基本情報	社意稿任 OTP
		姓*	user01
Copyright © 2004-2011, Soliton Systems K.K., All	rights reserved.	名	
	【加出】	E-Mail	
	T×±1	詳細情報。	
	• user01	コーザーD*	user01
	【フーザーエD】	パスワード・	
		パスワード(確認)*	••••••
	• user01	□ 一時利用停止 グループ技報	
	【パスワード】	所属するグループ	
	• password		OK キャンセル 道用
	passing		
Net Attest EPS			●トッナページ ● 読定保存 ● ログオフ
= naeps00.local	2 フーザーー時		
■ システム設定 ■ システム管理		→ 1000 ユーザーまで 検索	
■ 証明機関			道 加
E LDAPサーバー	名前	ユーザーID	ユーザー削除時の証明書矢効オフション
■ RADIUSサーバー ■ ユーザー	test user	test	発行 麦更 削除
■ ユーザー一覧 ■ エクスポート	user01	<u>user01</u>	発行 変更 削除
■ エーリーバスワートホリシー ■ デフォルトユーザーブロファイル			
Copyright © 2004-2011. Soliton Systems K K - All	I rights reserved.	u.	[x]

2-4クライアント証明書の発行

NetAttest EPS の管理画面より、クライアント証明書の発行を行います。

「ユーザー」→「ユーザー一覧」から、該当するユーザーのクライアント証明書を発行します。(ク ライアント証明書は、user01_02.p12 という名前で保存)

Not Attact EPC				
I VOL FULOSI EPS			(●トップページ)(
■ naeps00.local	🤰 ユーザー一覧			
■ システム設定 ■ システム管理	フーザー 0 →部 ● 完全 グルー	-サ 🔽 1000 ユーザーまで	検索	
■ 証明機関				追加
● DHCPサーバー ● L DADサーバー			<u>ユーザー前</u>	除時の証明書失効オブション
RADIUS 7 - / -	<u>名前</u>	<u>ユーザーID</u>	証明書	920
<u></u>	test user	test	発行	変更 削除
■ ユーザー一覧 ■ エクスポート	user01	user01	<u> </u>	変更 削除
		G#46	¥	
		編朱刘家: user01 其本代祝		
		姓	user01	
		名		
		E-Mail		
【江四事本林期码】				
【証明音有初期限】		詳細情報		
· 365		認証情報		
		ユーザーDD	user01	
【証明書ファイルス	オプションバスワード】	有効期限。		
. paceword		 ● 日数 365 日 ● 日付 2013 × 年 2 × 月 28 × 日 23 × 時 59 × 分 59 × 秒まで 		
· passworu		王明書ファイルオブション		
【PKCS#12 ファ・	イルに証明機関の・・・】	パスワード		
_		バスワード(確認)		
・チェック有		*バスワードが空間の場合には、		
		■ PKCS#12ファイルに証明機関	の証明書を含める	
				発行 キャンセル
			_	
				¥
	ユーザー証明書のダウン	ロード		
	 ユーザー証明書ダウンロー	「「の準備ができました。対象を」	ファイルに保存して下さい。	ダウンロード

3. MAG 2600 の設定

3-1基本設定

3-1-1インターフェイスの設定

MAG 2600の設定は WebUI で行います。(サブネットの設定は CLI から)

MAG 2600 のインターフェイスの設定は、下記の通りです。



MAG シリーズのクイックセットアップガイドをご参照下さい。

3-1-2システム時刻設定

NetAttest EPS と同じ時刻を設定します。

「Status」-「System Date & Time」-「Edit」から設定します。



3-1-3Hosts 設定(任意)

本検証環境には、DNS サーバーを設置していないため、NetAttest EPS の IP アドレスを Hosts に 登録します。「Network」-「Hosts」から設定します。

nos Pulse Secure Access Service		Help Guidance Sign Ou
Spatem Statu Configuration Network Custering Tel:MP Federation Log/Monitoring Authentication	nal Port VLANs Routes Hosts Network Connect 6 for this nort. These mannings are automatically created, but if n	ecessary way can add ar remove entries
Signing In Endpoint Security	Name(s)	Comment
luth. Servers		Add
Idministrators dmin Realms dmin Roles	naeps.local	NetAttest EPS
ers.		
er Realms +		
er koles		
esource Policies +		
nos Pulse +		
laintenance		
stem -		
rort/Export +		
sh Config +		
mport/Export + ush Config + rchiving +		

[IP]
· 192.168.1.2
[Name]
· naeps.local

3-2MAG 2600の証明書に関する設定

3-2-1SSL に関する設定(参考)(MAG 2600)

SSL に関するセキュリティ設定を行います。

「Configuration」-「Security」から設定します。



[Allowed SSL and TLS Version]
Accept Only SSL V3 and TLS V1
[Allowed Encryption Strength]
Accept Only 128-bit and greater
[SSL Legacy Renegotiation Support option]
Enable support for SSL legacy renegotiation

3-2-2CSR の生成 (MAG 2600)

MAG 2600 で CSR(Certificate Signing Request)を生成します。

「Configuration」 - 「Certificates」 - 「Device Certificates」の「New CSR」より

CSR を作成します。「Create CSR」をクリックすると、以下の画面に遷移します。

JUNIPEr.		
Junos Pulse Secure Ac	cess Service	
Status > Configuration > Network > Clustering > IF-MAP Federation >	Configuration > New Certificate Sign Use this page to create a new	ing Request Certificate Signing Request (CSR) to send to your Certificate Authority of choice.
Log/Monitoring Authentication	Common Name: (e.g., secure.company.com)	soliton.co.jp
Signing In Endpoint Security Auth. Servers Administrators Admin Realms Admin Roles User Realms User Roles Resource Profiles Resource Policies Junos Pulse	Organization Name: (e.g., Company Inc.) Org. Unit Name: (e.g., IT Group) Locality: (e.g., SomeCity) State (fully spelled out): (e.g., California) Country (2 letter code): (i.e., US) Email Address: Key Length:	Soliton Systems K.K. Tokyo-to Shinjyuku-ku JP 1024-bit O 2048-bit
Maintenance System Import/Export Push Config Archiving Troubleshooting	Please enter some random char recommend that you enter app Random Data: (used for key generation)	racters to augment the system's random key generator. We proximately twenty characters. •••••••

[Common Name]	[State]
• soliton.co.jp	• Shinjyuku-ku
[Organization Name]	[Country]
• Soliton Systems K.K.	۰JP
[Locality]	[Random Data]
· Tokvo-to	• password

ジ証明書サブジェクトは必ず指定して下さい。 NetAttest EPS では、デフォルトでは CN が必須です。



[Step1. Send CSR to Certificate Authority for signing] \mathcal{O}

文字列すべてをコピーし、テキストデータで保存します。



3-2-3サーバー証明書署名要求 (NetAttest EPS)

MAG 2600 で生成した CSR を基に NetAttest EPS で MAG 2600 のサーバー証明書を発行します。 NetAttest EPS の管理者向け証明書サービスページ((デフォルト)http://192.168.2.1/certsrva/) にアクセスし、証明書要求を行います。下記の手順で CSR をインポートします。

Net Attest EPS	
🖻 naeps00.local	証明書要求ーブロファイルの選択
■ CA情報 ■ ダウンロード ■ 証明書要求 ■ 証明書確認	このPCでは、以下の証明書要求を作成できます。 <u>WEBサーバー証明書</u>
	<u>詳細オブションの設定</u> <u>PKCS#10ファイルによる証明書要求を閉じる</u> C:\Documents and Settings\sawano\デスクトップ\2013012: 参照

3-2-4サーバー証明書の発行 (NetAttest EPS)

サーバー証明書要求の承認・発行を行います。

CA 管理ページ(http://192.168.2.1:2181/caadmin/)にアクセスし、【保留】状態のサーバー証明 書を承認(発行)します。

要求リス	F			
状態 <mark>保</mark> 詳細オブ	留のみ表示 🔽 ソョンの設定	更新		
	状態	受付日時	送信元	プロファイル
	保留	2012/02/29 22:07:19	CAadm: 192.168.2.212:Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 8.0; Windows	WEBサーバー証明書
拒否	削除 発	行: 有効日数 <mark>デフォルト</mark>	発行	



3-2-5サーバー証明書のダウンロード (NetAttest EPS)

サーバー証明書をダウンロードするために再度、管理者向け証明書サービスページにアクセスします。 「証明書の確認」を選択すると状態が【発行】になっていますので、サーバー証明書 (nausercert-pem.cer)をダウンロードします。



3-2-6CA 証明書の取得 (NetAttest EPS)

管理者向け証明書サービスページから、NetAttest EPSのCA証明書をダウンロードします。CA証明書は、PEM形式(nacacert-pem.cer)を選択します。

NetAttest EPS		このアイトを開ため、または保存しますか? 名前: nooxert-penner 接接 10を197-42時後:154 KB Weite 10を197-42時後:154 KB
■ naeps local ■ CA情報 ダウンロード ■ 証明書要求	▲ ダウンロード CA証明書ダウンロー ・ <u>PEM</u> 」 EE	
□ 証明書確認	<u>CA証明書インストール</u> CRLダウンロード <u>PEM</u> <u>DER</u>	最終更新日時: 2013/01/29 10:40:42

3-2-7サーバー証明書のインポート (MAG 2600)

NetAttest EPS で発行したサーバー証明書をインポートします。

CSR を作成したページの [Step2. Import signed certificate] で、サーバー証明書 (nausercert-pem.cer)をインポートします。



soliton.co.jp	TestCA	Jan 29 07:36:38 2013 GMT to Jan 29 07:41:38 2014 GMT	

インポート結果

3-2-8CA 証明書のインポート (MAG 2600)

NetAttest EPS からダウンロードした CA 証明書を MAG 2600 にインポートします。

「Configuration」-「Certificates」-「Trusted Client CAs」の「Import CA Certificate」から、CA 証明書(nacacert-pem.cer)をインポートします。

続いて、インポートされた CA 証明書をクリックし、CRL の設定を行います。

JUNIPEC	
Junos Pulse Secure A	ccess Service
- System	
Status >	Configuration > Trusted Client CAs >
Configuration >	Import Trusted Client CA
Network +	1000 III III III III III III III III III
Clustering >	Certificate file
IF-MAP Federation ►	
Log/Monitoring →	Import from: 参照
Authentication	
Signing In	Import Trusted Client CA?
Endpoint Security >	
Auth. Servers	
- Administrators	Import Certificate
Admin Realms 🔸	

Configuration Certificates		
Licensing Security Certificates DMI Agent	NCP Sensors Client Ty	pes Secure Meeting Virtual Desktops
Device Certificates Trusted Client CAs Trusted Server (CAs Code-signing Certificat	es Client Auth Certificates
Users can be required to present valid client side as	artificates to sign in (see t	he realm energies Cartificate Authenticati
Auto-import options Proxy Settings	Import CA Certificate	Delete
Auto-import options Proxy Settings	Import CA Certificate Trusted for client authentication?	Delete



「Client certificate status checking」のいくつかの項目にチェックを入れ、

次に、「CRL Checking Options」をクリックします。

Authentication Authentication Authenticati	sistervice	(Client certificate status checking • Use CRLs ها:+45:41 2023 GMT• Verify Trusted Client CA • Trusted for Client Authentication • Participate in Certificate Negotia
System Status (Status (Configuration) Network (Configuration) IF-NAP Federation (Log/Manitoring) Authentication (Signing In) Endpoint Security (Authentication (Signing In) Endpoint Security (Authin Security (Admin Roles) User Realms (User Roles) User Roles (Resource Profiles) Resource Profiles) System (Import/Export) Push Config) Archiving (Certificate	[Client certificate status checking • Use CRLs D1:45:41 2023 GMT • Verify Trusted Client CA • Trusted for Client Authentication • Participate in Certificate Negotia
Clustering) IF-MAP Rederation Government of the source	Certificate Issued To: > TestCA Issued By: > TestCA Valid Dates: Jan 29 01:40:41 2013 GMT - Jan 27 0 Details: > Other Certificate Details Renew Certificate Cleant certificate status checking None Use OCSP (Online Certification Status Protocol) Use CRLs (Certificate Revocation Lists)	• Use CRLs • Use CRLs • Trusted Client CA • Trusted for Client Authentication • Participate in Certificate Negotia
Authentication Signing In Endpoint Security Auth. Servers Admin Realms Admin Realms Admin Realms User Realms User Realms User Realms User Roles Resource Porfiles Junos Pulse Junos Pulse Junos Pulse UserSystem Import/Export Import Impo	Issued By: > TestCA Valid Dates: Jan 29 01:40:41 2013 GMT - Jan 27 0 Details: > Other Certificate Details Renew Certificate	91:45:41 2023 GMT · Verify Trusted Client CA · Trusted for Client Authentication · Participate in Certificate Negotia
Auth. Servers Admin Realms Admin Roles Control Control Control User Realms User Besource Porfiles I Resource Porfiles I Resource Porfiles I Mainteinance System I Import/Export I Push Config Achiving I	Renew Certificate Client certificate status checking None Use OCSP (Online Certification Status Protocol) Use CRLs (Certificate Revocation Lists)	 Trusted for Client Authentication Participate in Certificate Negotia
Users Roles User Realms : User Roles Resource Policies : Resource Policies : Mainteinanco System : Import/Export : Push Config : Archiving :	Client certificate status checking O None O Use OCSP (Online Certification Status Protocol) O Use CRLs (Certificate Revocation Lists)	• Participate in Certificate Negotia
User Roles + Resource Profiles + Resource Policies + Junos Pulse + Mainténance System + Import/Export + Push Config + Archiving + Troublesbooting +	None Use OCSP (Online Certification Status Protocol) Use OCSP (Certificate Revocation Lists)	
Resource Policies + Junos Pulse + Mainténance System + Import/Export + Push Config + Archiving +	None Use OCSP (Online Certification Status Protocol) Use CRLs (Certificate Revocation Lists)	
Mainténance ystem : mport/Export : Push Config : roubleshooting :	 Use OCSP (Online Certification Status Protocol) Use CRLs (Certificate Revocation Lists) 	
System + import/Export + Push Config + Archiving + Troubleshooting +	 Use CRLs (Certificate Revocation Lists) 	
Import/Export + Push Config + Archiving + Troubleshooting +		
Archiving + Froubleshooting +	O Use OCSP with CRL fallback	
Troubleshooting +	Inherit from root CA	
	ান Vreideউদ্যেশনা প্ৰদিন্দ্ৰ স্থে সময় সম্প্ৰদান কৰা সময় সম্প্ৰদান কৰা সময় সম্প্ৰদান কৰা স সম্প্ৰদান কৰা সম্প্ৰদান কৰা	ושי זירוון) ווופי נווש נושביבי שוניון ביו יש ישופו בוופטוווק נוופ וווו בוובטי נוב שוני נו נוש ברשונטיב ב ובפבין בוופ זיביבי נ
	✓ Trusted for Client Authentication Uncheck here to exclude the CA from being trusted for client certificate validation.	ficate authentication, if this CA was added for other trusting purpose such as SAML signature verification or machin
	Participate in Client Certificate Negotiation Indicating whether this CA will be sent to the browser for clien	nt certificate selection. To stop a client certificate being prompted by the browser, this flag of all the upper level C
	Note: Enabling the certificate policy settings below will accepted certificate paths to be rejected.	I cause path validation to comply strictly with RFC 5280. This may cause some previousl
	Initial Policy Set:	A set of certificate policy identifiers naming the policy bits are acceptable to the certificate user One policy per line. e.g. 1.3:6:1.4: 2.1:6:840.1:101.3:2.1 Empty value indicates any policy
	Save Changes	
	CRL Settings Certificate revocation lists (CRL) are used to verify the ongoing valid Checking Options, and specify the options. CRL Checking Options Update Now Er	ity of client-side certificates, and are obtained from CRL distribution points (CDP). To enable CRL checking, click C nable Disable
	CRL distribution points	Statue Lact Indated Next Indate
	http://naeps.local/certs/certs.cd	Enabled: 2013/01/29 15:58:27 2013/02/29 10:45:42
	Last result: Success, new CRL	OK: IKB, 0 [Save CRL] OK: IKB, 0 [Save CRL]



「CRL Distribution Points(CDP)」で「Manually configured CDP」を選択し、「CDP URL」に CRL の保存場所 URL を記載します。

JUNIPEr.	
Jupos Dulso Socuro As	rears Samira
 System 	
Status > Configuration >	Configuration > Trusted Client CAs > TestCA > CRL Checking Options
Clustering + IF-MAP Federation +	Specify the CRL distribution point(s) from which to download the CRL, as well as how often to download.
Log/Monitoring	CRL Distribution Points (CDP)
Signing In >	Use: Manually configured CDP
Auth. Servers	Specify a HTTP or LDAP-based CDP, and an optional backup CDP if the primary CDP is not accessible. If the CDP requires authentication, enter the appropriate credentials as well
Administrators	Primary CDP [CDP URL]
Admin Roles → = Users	CDP URL: http://naeps.local/certs/certs.cn/
User Realms > User Roles > Resource Profiles >	http://server.domain.com/839/domaincaserver.cn LDAP example: Idap://dap.domain.com/6000/CM=Idap.CN=CDP,CN=Public Key Services,CN=Services,CN=Configuration,DC=domain,DC=com?certificateRevocationList?base? object/clesserCollistibut/com/2014;
Resource Policies > Junos Pulse >	Admin DN: (LDAP only)
- Maintenance	Password: (LDAP only)
System + Import/Export + Push Config +	Backup CDP
Archiving + Troubleshooting +	CDP URL:
	Admin DN: (LDAP only)
	Password: (LDAP only)
	Options
	CRL Download Frequency: 24 hours (1-9999) Note that CRLs can also specify a time to be updated. CRLs are downloaded based on that time or the frequency specifie herewhichever comes first.
	Ualidate Server Certificate (LDAPS only)
	Save Changes?
	Save Changes

CDP URL は EPS からダウンロードした CA 証明書でも確認できます。

証明書	
全般 詳細 証明のパス	
表示(S): 拡張機能のみ	
フィールド 値	
o 基本制限 Subject Type=CA, Path Lengt	
一 「 予 ー 使 用 法 Certificate Signing, Off-line C	
「リノジェットキー識別子 dg er 2r ce 61 26 78 9r 64 do 「一種期を一識別子 KeyID=dg ef 2r ce 61 26 78 9	
Retscape 証明書の種類 SSL CA, SMIME CA (06)	
GCRL 配布ポイント [1]CRL Distribution Point: Dis	
「I]CRL Distribution Point Distribution Point Name: Full Name: URL=http://naeps.local/certs/certs.crl プロパライの編集(E) ファイルにコピー(3-1-3 で設定した Hosts により名前解決している ため今回は FQDN で指定しております。名前解決 出来ない環境では IP アドレスで指定して下さい。

3-3MAG 2600の VPN 接続に関する設定

3-3-1RADIUS/Certificate Serverの設定

「Auth. Servers」の「New Server」より「RADIUS」を追加します。

Junos Pulse Secure Ac	cess Service			
- System Status Configuration Network Clustering	Auth Servers > EPSTEST Settings Users			
Log/Monitoring +	* Name:	EPSTEST		abel to reference this server.
Signing In +	NAS-Identifier:	JuniperMAG		lame of the device as known to Radius server
Endpoint Security +	Primary Server			
- Administrators	* Radius Server:	192.168.1.2		lame or IP address
Admin Realms +	* Authentication Port:	1812		
- Users	* Shared Secret:	•••••		
User Realms +	* Accounting Port:	1813		ort used for Radius accounting, if applicable
Resource Profiles +	NAS-IP-Address:	192.168.1.110		P address
Resource Policies >				
Maintenance	* Timeout:	30 seconds		
System →	* Retries:	0		
Import/Export + Push Config + Archiving + Troubleshooting +	Users authenticate Note: If you select thi and this credential will	a using tokens or s, the device will ser I not be used in auto	one-time passwo d the user's auther matic SSO to backe	ords ntication method as "token" if you use SAML, and applications.
	Backup Server (required o	nly if Backup server	exists)	
	Radius Server:		Name or IP a	ddress
	Authentication Port:			
	Shared Secret:			
	Accounting Port:		Port used for	Radius accounting, if applicable
	Radius accounting			
	User-Name:	<user>(<real< td=""><td>.M>)[<role sep="</td"><td>Template for repo</td></role></td></real<></user>	.M>)[<role sep="</td"><td>Template for repo</td></role>	Template for repo
		The template can view a list of all v	contain textual cha ariablae	racters as well as variables for substitution. Va

[Name] EPSTEST [NAS-Identifier] Juniper MAG [Radius Server] 192.168.1.2 [Authentication Port] · 1812 [Shared Secret] · secret [Accounting Port] · 1813 [NAS-IP-Address] · 192.168.1.110

次に「Auth. Servers」の「New Server」より「Certificate Server」を追加します。



[Name]

• naeps.local



3-3-2VPN Roles の設定

「User Roles」-「New User Role」よりユーザーに割り当てるロールの設定を行います。ここでは、 許可する VPN 接続方法等を指定します。



次に、画面上タブの「Web」より「New Bookmark」を選択し、以下を設定します。

※本設定は任意です。本設定をすることで、ログイン後、登録した BookMark が表示されます。



続いて、画面上タブの「Network Connect」-「Options」より以下を設定します。

JUNIPEr.			
Junos Pulse Secure Ac	cess Service		
Status Configuration Network Clustering IF-MAP Federation Log/Monitoring	Roles > VPNRoles General Web Files SAM Telnet/SSH Terminal Services V Options Junos Pulse Settings	irtual Desktops Meetings Network Connect	
Authentication Signing In Endpoint Security Auth. Servers Administrators Admin Realms Admin Roles Users	Client Options Choose the client application for VPN access O Network Connect O Junos Pulse		[Client Options]
User Realms > User Roles > Resource Profiles > Resource Profiles > Junce Publice > Junce Publice > Junce Publice > System > Transformation > Archiving > Troubleshooting >	Split Tunneling Choose the split-tunneling mode © Disable Process Yes © No Route Monitor Should Pulse disconnect when route changes that affect Pulse traffic are made Yes No	27	· Junos Puise
	Auto-launch Use auto-launch Use auto-launch Session scripts Windows: Session start script This script is executed after the client ession has started. Script Location: Save changes?	gn in : Session end script executed after the client session has ended. :ation:	
	Save Changes		

3-3-3VPN Access Policyの設定

「Resource Policies」-「Web」の「New Policy」でアクセスポリシーの設定を行います。「Roles」 で作成した Role(VPNRoles)を選択し、選択したロールとポリシーの紐付けを行います。「Resources」 で定義した接続に対して、VPNRoles が適用されます。

JUNIPEr.			
Junos Dulco Securo Ar	ress Service		
Containe Secure Act			
- System	Web Access Polici	es >	
Status /	VPN Acce	ss Policy	
Network			
Clustering +	General Det	ailed Rules	
IF-MAP Federation +			
Log/Monitoring			
- Authentication	* Name:	VPN Access Policy	and the second
Signing In 🔰	Description:	1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 -	
Endpoint Security			
Auth, Servers			
- Administrators			~
Admin Realms 🔸			
Admin Roles >	Resources		
- Users		Specify the resources for which this policy pool	
User Realms 🔸		resource.	es, one per me. In one
User Roles	* *		Examples
Resource Protiles >	* Resources:	http://#:80/*.	A Examplest
Junos Puise		192.100.0/10:^/^	v 10.10.10.10/ 4
- Maintenance			
Import/Export	Polos		the second s
Push Config >	Kules		
Archiving +		O Policy applies to ALL roles	
Troubleshooting		Policy applies to SELECTED roles	
		Policy applies to all roles OTHER TH	AN those selected b
		Available roles: Selected ro	les:
		Users Add -> VPNRoles	
	Action		
		Allow access	
		O Deny access	
		O Use Detailed Rules (see Detailed Rul	l <u>es</u> page)
	Save changes?		
		Save Changes Save as Copy	
	* indicates requi	red field	

- [Name]
- · VPN Access Policy
- [Resources]
- http://*:80/*
- · 192.168.0.0./16:*/*

[Roles]

- Policy applies to SELECTED roles [Selected roles]
- · VPNRoles



3-3-4 Authentication Realms の設定

「User Realms」-「New User Realms」でレルムの設定を行います。

「Authentication」に Certificate Server(naeps.local)を指定、「Additional authentication server」 には RADIUS(EPSTEST)を指定します。

本設定をすることで、証明書認証+ID/Password 認証が可能になります。

JUNIPEr.			
Junos Pulse Secure Acc	cess Service		
System Status Configuration Network Clustering IF-MAP Federation	User Authentication Realms > VPNRealms General Authentication Policy Role Mappi	ng	
Log/Monitoring Authentication Signing In Endpoint Security Auth. Servers Administrators Admin Realms Admin Roles Users	* Name: Description:	VPNRealms	[Name] • VPNRealms [Authentication]
User Realms User Roles User Roles Resource Profiles Generation Junos Pulse Maintenance	Servers Specify the servers to use for authentication and authon Authentication:	orization. To create or manage servers, see the <u>Servers</u> pa naeps local	naeps.local
System) Import/Export) Push Config)	Directory/Attribute: Accounting: 	None V EPSTEST V	· EPSTEST
	You can specify an additional authentication server for specified by the sign-in page), or they can be pre-defi	single sign-on (SSO) purposes. The additional credentials ned below, in which case the user will not be prompted for	
	Authentication #2:	EPSTEST	
	Username is:	 specified by user on sign-in page predefined as: <user></user> 	
	Password is:	specified by user on sign-in page predefined as: <password> End session if authentication against this se</password>	
	Dynamic policy evaluation		
	Other Settings		
	Authentication Policy: Role Mapping:	Certificate restrictions Password restrictions 1 Rule	_
	Save changes?		▶次ページへ

次に、画面上タブの「Role Mapping」よりユーザーとロールの紐付け設定を行います。

「…then assign roles」では VPNRoles を指定します。

Junos Pulse Secure Access Service			
🖻 System			
Status User Authentication Realms > VPNRealms > Configuration > Role Mapping Rule	User Authentication Realms > VPNRealms > Role Mapping Rule		
Network Clustering Name: TESTRoleMAP TEMAP Federation			
Log/Monitoring * Rule: If username			
Authentication			
Signing In Endpoint Security Auth. Servers	ername		
🖃 Administrators 🔽			
Admin Realms → Admin Roles →			
Usersthen assign these roles			
User Realms >			
User Roles > Available Roles: Selected Roles: Resource Profiles > Users Add -> VPNRoles Users Pulse > Domain			
Maintenance			
System Import/Export Push Config			
Archiving ,			

		_
	am	e I
FLAC		

- · TESTRoleMAP
- [Role if username…]
- · is:*
- [...then assign these roles]
- VPNRoles

3-3-5Sign-In Policyの設定

「Sign In」-「Sign-in Policies」の「New URL」からサインインポリシーの設定を行います。ここ での設定が VPN クライアント(Junos Pulse クライアント)で接続する際の接続先 URL になります。 「Authentication realm」では、VPNRealms を指定します。



3-3-6IP プールの設定

「Resource Policies」-「Network Connect Connection Profiles」で、VPN クライアントに払い 出す IP アドレス(IP プール)等のネットワーク設定を行います。



4. 各種 VPN クライアントの設定

4-1Windows 版 Junos Pulse

4-1-1PC へのデジタル証明書のインストール

PC にクライアント証明書をインポートします。

ダウンロードしておいたクライアント証明書(user01_02.p12)をダブルクリックすると、証明書インポートウィザードが実行されます。







4-1-2VPN クライアント(Junos Pulse)の接続設定

Junos Pulse クライアントをJuniper Network 社のサイトもしくは MAG 2600 からダウンロードし、 インストールします。 MAG 2600 からダウンロードする場合は、本環境では https://192.168.3.110/にアクセスします。 Junos Pulse クライアントの設定は下記のとおりです。

🔹 PULSE –×	
ファイル (F) ヘルプ(H)	
コネクションを編集 ×	
<mark>タイプ(T):</mark> IC/SAシリーズ ー	【名前】
名前 (M):	• Junos Pulse
Junos Pulse	【サーバーURL】
サー/ヾー URL(S):	• https://192.168.3.110/vpntest/
https://192.168.3.110/vpntest/	
接続(C) 保存 (A) キャンセル(N)	
© 2010 Juniper Networks, Inc. All rights reserved.	

4−2iOS 版 Junos Pulse

4-2-1iOS へのデジタル証明書のインストール

NetAttest EPS から発行したデジタル証明書を iOS デバイスにインストールする方法として、下記 3つの方法などがあります。

1)iPhone 構成ユーティリティ(構成プロファイル)を使う方法

2)デジタル証明書をメールに添付し iOS デバイスに送り、インストールする方法

3) SCEP で取得する方法(NetAttest EPS-ap を利用できます)

上記いずれかの方法で CA 証明書とクライアント証明書をインストールします。 ※本書では割愛させて頂きます。

4-2-2VPN クライアント(Junos Pulse)の接続設定

Junos Pulse クライアントを Apple App Store からインストールします。

インストール後 Junos Pulse を起動し、下記のように設定します。



【名前】

- JuniperMAG
- [URL]
- https://192.168.3.110/vpntest/
 【証明書】
- ・インストールした証明書を選択

4-3接続テスト

4-3-1Windows 版 Junos Pulse を利用した VPN 接続(トンネリングモード)

Junos Pulse クライアントを利用し、VPN 接続を行います。

なお、ブラウザを利用し、接続することも可能です。





4-3-2iOS 版 Junos Pulse を利用した VPN 接続

Junos Pulse クライアントを利用し、VPN 接続を行います。





改訂履歴

日付	版	改訂内容
2013/03/1	1.0	初版作成